

## 大学施設の紹介

施設の利用に関する最新情報は本学ウェブサイトにてご確認ください。

### 中嶋記念図書館

どなたでもご利用いただけます。

※ 静かな学習環境を保つため、カメラや携帯電話での撮影はご遠慮ください。

#### 【一般利用時間】

平日 8:30~22:00

土日祝日・長期休暇期間 10:00~18:00

年末年始 閉館



### 言語異文化学修センター(LDIC)

言語異文化学修センターは、外国語の自律学修を支援する施設です。英語をはじめ多数の外国語に関する豊富な教材と充実した設備を整えています。

#### 【一般利用時間】

平日 8:30~22:00

土日祝日・長期休暇期間 10:00~18:00

年末年始 閉室



## お問合せ

本学教職員の派遣や学生との交流に関するご相談・お問合せ先

国際教養大学  
応用国際教養教育推進課  
地域連携チーム

Tel. 018-886-5904(平日 9:00~17:00)

Fax.018-886-5910

※ 土・日曜日、国民の祝日、8月13日から15日、12月29日から翌年1月3日及び本学の開学記念日(4月8日)は事務を取り扱いません。



公立大学法人  
国際教養大学  
Akita International University

発行 2023年6月

発行者 公立大学法人国際教養大学

〒010-1292 秋田県秋田市雄和椿川字奥楯岱

Tel. 018-886-5900 / Fax. 018-886-5910

URL: <https://web.aiu.ac.jp/>

公立大学法人  
国際教養大学の地域連携活動  
2022年4月~2023年3月





公立大学法人  
国際教養大学の地域連携活動

2022年4月～2023年3月

目次 CONTENTS

## はじめに

2004年4月の開学以来、国際教養大学では教育、研究、国際貢献・地域貢献活動を3つの大学の責務として位置づけてまいりました。

私どもはこれまで、中嶋記念図書館、言語異文化学修センター(LDIC)、カフェテリア、カレッジカフェ、Suda Hall(多目的ホール)などの学内施設の一般開放はもちろんのこと、本学が有する教育資源を活用してイングリッシュビレッジをはじめとする教育機会の提供、地域活性化、異文化交流の促進、研修の場の提供等々、さまざまな取組を通して秋田県のみならず各地域へ新しい風を吹き込んできたと自負しております。

現代の大学には、教育および研究機能に加えて、社会貢献の機能が求められています。本学は秋田県にある公立大学として市町村や地域のみなさまのお力添えをいただきながら、積極的な交流活動を行い、県境・国境、世代を超えた人々とのつながりを育んでまいりました。同時に、県内出身学生の郷土愛、県外出身学生の秋田に対する新たな見識、そして世界各国からの留学生の異文化理解をより一層深め、「秋田から世界へ」「世界から秋田へ」という流れを実現するよう努力しております。

本学の日本人学生、海外からの留学生と県内の小中高等学校との交流事業は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら対面活動を実施しており、徐々に以前のような交流のにぎわいを取り戻しつつあります。2022年度からは、イングリッシュビレッジも対面での受入れを再開し、参加児童・生徒の皆さんはもちろん、本学学生もFace to Faceのコミュニケーションから得られる経験の大きさを改めて感じているところで、要望に応じてオンライン交流も継続しており、教育現場におけるICT活用の推進にも寄与しております。

本学では2021年度から、これまで展開してきた「国際教養教育」を一歩先に進め、本学の全人教育の更なる進化に向けて「応用国際教養教育(AILA: Applied International Liberal Arts)」という新たな教育手法を打ち出し、2022年度には応用国際教養教育推進機構を設立しました。この機構では能動的学修センター、デザイン創造・データサイエンスセンター、地域連携協働研究センターの3つの組織が有機的に連携し、また、企業等と協働で地域の課題解決に取り組むことで、本学の全人教育のさらなる進化と社会貢献の高度化に努めております。

私どもは地域に開かれた大学、地域と共に歩む大学として、地域のみなさまとの連携を推し進めていきたいと考えています。本誌には、コロナ禍の困難な状況においても秋田と世界をつなぐ活動に取り組んできた2022年度の地域貢献活動をとりまとめしておりますので、御一読いただければ幸いです。

みなさまの温かい御理解と一層の御支援のほど、よろしくお願いいたします。



公立大学法人 国際教養大学

理事長・学長 **モンテ・カセム**



はじめに…………… 1

教育・国際交流…………… 3-6

イングリッシュビレッジ	3
異文化理解教育プログラム	3
御所野学院中学校・高等学校との連携	4
地域と学生の交流	4
ティーチャーズセミナー	5
英語指導法セミナー&ワークショップ	5
地域の日本語教育支援	5
公開講座	6
吉本興業特別講演会	6

企業連携…………… 7-8

AIUデザインLAB	7
秋田県産品の海外PR	8
TOYOTA SHAREの共同実証研究	8
産学金連携寄附講座	8
JR東日本寄附講座	8

学術連携…………… 9-10

共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)	9
秋田民俗芸能アーカイブス	9
秋田リビングラボ	9
AIUリサーチ・ウィーク	10
学長プロジェクト研究	10

大学施設の紹介 / 各種申込方法 …… 裏表紙

●各ページに掲載している本学教員紹介は、2023年4月1日時点の情報です。氏名・所属・職位の順に掲載しております。  
●各ページに掲載しているQRコードは本学ウェブサイトの関連ページにリンクしています。

# 教育・国際交流

本学では200を超える海外提携大学などから留学生が学びに来ており、『世界の縮図』ともいえる多文化共生空間を形成しています。「英語で英語を学ぶ」ことにおいては独自のノウハウを有し、小中高等学校の教育現場に還元できるよう取り組んでいます。また、多様な人材が地域の方々と交流することで、地域の国際化推進に貢献しています。



イングリッシュビレッジ

## イングリッシュビレッジ

TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN スーパーグローバル大学創成支援事業

イングリッシュビレッジは、中高生を対象とした英語研修プログラムです。本学の学生（大学院生、学部生、留学生）が、教員から事前にトレーニングを受け、講師として参加生徒の指導にあたります。2022年度からは2泊3日の研修プログラムを対面で再開し、国際教養大学というグローバルな環境で、「英語で英語を学ぶ」機会を楽しんでいます。



セッションの一場面

**対象** 県内外の中高生  
**開催実績** 8回 延211名参加



**内田 浩樹**  
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科長・専攻長  
英語教育実践領域代表／教授

中高生が実践的な英語を学び、本学の学生が教師としてのスキルを学ぶという、双方にメリットの大きい事業モデルを実現しました。

## 異文化理解教育プログラム

教員監修のもと、本学学生のチームが開発した小学生のための異文化理解教育プログラムです。グローバル化が進む社会では、英語力に先駆けて異文化を理解する心を身につけることが必要です。本プログラムは、グループワークを通して楽しく学べる構成となっており、身近な場面を動画で見ながら、文化圏の異なる人々と共に暮らす社会で気を付けたいことをひとつひとつ学んでいきます。



グループワークで意見を出しあう様子

**対象** 小学校の児童  
**開催実績** 1回 18名

**平山 友里夏**  
(2019年入学／学部生)

グローバル化が進み、様々な文化や価値観を持つ人々と出会い、一緒に生活することが増えてきました。交流する上で起こり得る困りごとを含め大切なことを、話し合いながら学べる機会です。

## 御所野学院中学校・高等学校との連携

本学と教育連携協定を結んでいる秋田市立御所野学院中学校・高等学校を教員と学生が定期的に訪問し、相互交流しています。



生徒にゲームの説明をする学生

**対象** 御所野学院中学校・高等学校の生徒  
**開催実績** 中学校 10回 延495名参加  
高校 4回 延234名参加



**カルロス・バディング (Carlos BUDDING)**  
英語集中プログラム、外国語教育／准教授  
言語異文化学修センターコーディネーター

本学の学生が日英で行う授業・アドバイスは、学生・中高生双方にとって、より身近な雰囲気英語を教え・学ぶ貴重な機会となっています。

## 地域と学生の交流

本学と国際交流に関する連携協定を結んでいる秋田県内の8市町村（八峰町、大仙市、男鹿市、由利本荘市、美郷町、仙北市、大湯村、羽後町）を中心に、多くの学校・団体との間で本学学生の派遣や本学への訪問の受け入れなどを行い、様々な交流活動を実施しています。

### 地域の学校との交流

2022年度は対面での交流も増え、地域の学校を訪問したり、児童・生徒をキャンパスに受け入れて交流するなど、コロナ前を彷彿とさせる賑わいとなりました。2020年度から開始したオンライン交流も継続し、教育現場におけるICTの活用にも貢献することができました。

#### 【活動例】

- AIUを選んだ理由などの進路講話
- 留学生・日本人学生による出身地の紹介やクイズ
- 日本語を学ぶ学生との日本文化を通じた交流
- 本学の化学実験室と接続して理科実験に参加
- 秋田公立美術大学との学生交流事業
- 吹きガラス体験・生け花ワークショップ
- 県内高校生向けオンラインワークショップ  
「国際法と国際機構」について学生とディスカッション



児童の皆さんと習字に挑戦する留学生



オンライン交流の様子

### 地域のイベントなどへの参加

本学の所在地である秋田市雄和地区をはじめ、県内各地の方々や伝統行事やモニターツアー、各種イベントを通じた継続的な交流を行っています。



秋田市内で開催された収穫祭への参加

**小杉 友香**  
(2022年入学／学部生)

留学生と参加した収穫祭で、お餅、きりたんぼ鍋、味噌たんぼなどをお腹いっぱいいただきました。餅つきやきりたんぼ作りなど初めてのことに挑戦する留学生の興味津々な様子や、それを見る地元の方々の誇らしそうな顔が印象的でした。

### 2022年度学校・各種団体との交流実績

		開催回数	延参加者数	延参加学生数	
				内留学生	
秋田県内	保育園・幼稚園	2	56	6	5
	小学校	27	921	104	48
	中学校	21	778	144	21
	高校	14	559	89	11
	その他	41	401	328	93
県外		6	198	73	0
合計		111	2,913	744	178



学生との交流活動に関する情報・お申込み

## ティーチャーズセミナー

TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN スーパーグローバル大学創成支援事業

ポストコロナの学習環境で活用できる、コミュニケーション中心の実践的な英語指導スキルの向上を目指します。また、先生方が日々の英語の指導に自信が持てるようにサポートします。



模擬授業の様子

**対象** 県内の小学校教員  
**開催実績** 小学校外国語活動教員研修事業 39名



**町田 智久**  
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科  
英語教育実践領域/教授

「英語を英語で教える」ことの意味やその手法、授業づくり、ALTとのチームティーチングなどについて、秋田県教育委員会と協働で研修を開発し、本学教員がワークショップを実施しました。

## 英語指導法セミナー&ワークショップ

米国大使館・在札幌米国領事館共催

オンラインにて日本全国の英語教員の皆さんに英語指導法研修プログラムを提供したほか、在札幌領事館の支援によりビジネスコミュニケーションのスキルアップを目的としたコースも開講しました。



オンラインレクチャーの様子

**対象** 県内外の小中高等学校の英語教員、他  
**開催実績** ◎日本人教員のための英語指導法研修プログラム 計2回 延58名参加  
◎英語ビジネス・コミュニケーション・プログラム 計3回 延65名参加



**クリストファー・カール・ヘイル (Christopher Carl HALE)**  
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科  
英語教育実践領域/准教授

日本の先生方を対象とした専門的なプログラムを提供するようになって7年目を迎え、私たちの努力の結果が現れてきていると確信しています。

## 地域の日本語教育支援

本学の日本語プログラム及び専門職大学院日本語教育実践領域では、教員や大学院生の専門性を活かし、地域の日本語教育や日本語学習支援者の養成、支援者間のネットワーク構築に貢献しています。2022年度からは、秋田県・岩手県・山形県における「なか東北連携」による地域日本語教育専門人材養成事業をスタートさせ、山形大学や岩手大学、地域国際化協会、NPOと連携して地域日本語教育専門人材の養成を行っています。



秋田県国際交流協会日本語学習支援者養成講座の様子

**対象** 地域の日本語教師、他  
**修了者** 29名(秋田8名、岩手10名、山形11名)



**嶋 ちはる**  
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科  
日本語教育実践領域/准教授

「なか東北連携」の事業では、秋田に暮らす外国人のニーズや言語使用場面などを踏まえて、コースデザイン、教授、評価ができる知識・技術・教育観を有する地域日本語教育専門人材を養成します。

## 公開講座

地域連携・貢献活動の一環として公開講座を毎年開講しています。2022年度は対面とオンラインでの開催となり、キャンパスでも聴講いただきました。参加者からは、「国際情勢が不安定な時代に生きている私たちが今後の生き方を模索していけるように、今後もこうした講座を受講していきたい。」などの感想が寄せられました。

**開催日** 2022年10月1日(土)  
**参加者** 対面:46名、オンライン:132名

講義1	「江戸時代の朝暮関係 - 対外関係の視点から」 水野 智仁 グローバル・スタディズ領域長/教授	
講義2	「冷戦後の米露関係とウクライナ問題」 竹本 周平 グローバル・スタディズ領域/助教	
講義3	“An Invitation to AIU's Big Read: The Ocean in the Closet by Yuko Taniguchi” 「AIUビッグ・リードへのご招待:『The Ocean in the Closet』 Yuko Taniguchi著」 リー・フリートリック (Lee FRIEDRICH) 英語集中プログラム/准教授	
講義4	“What can computers do? The cost of electricity and the limits of logic” 「コンピュータには何ができるのか? 電力コストと論理の限界」 アティラ・エグリナギ (Attila EGRY-NAGY) グローバル・コネクティビティ領域/教授	

## 吉本興業特別講演会

吉本興業ホールディングス(株)代表取締役会長の大崎洋氏をお招きし、特別講演会を開催しました。講演会は学生のキャリア教育の一環として実施され、ビジネスやAI、メタバースへの興味・関心をより一層深化させる契機となりました。

**開催日** 2022年11月22日(火)  
**参加者** 91名

第1部 対談	吉本興業の企業戦略、未来のお笑い・エンタメのあり方とは? 大崎 洋 氏 吉本興業ホールディングス株式会社/代表取締役会長 モンテ・カセム学長
第2部 パネルディス カッション	AI、メタバース、そして人間 大崎 洋 氏 杉山 恒太郎 氏 株式会社ライトパブリシティ/代表取締役社長 中村 伊知哉 氏 情報経営イノベーション専門職大学/学長 モンテ・カセム学長



### ■ 入会のお願い

国際教養大学は、世界中から集まった優秀な教授陣がすべての授業を英語で提供し、徹底した少人数教育を行うなど、従来の大学にはない特徴を備えた大学です。21世紀の大学教育を変えるパイオニア的役割を担った国際教養大学の挑戦は、秋田県はもとより、日本全体でも画期的な取組であります。『国際教養大学サポーターズクラブ』は、この大学が着実に発展するよう物心両面から応援するとともに、大学と会員との交流・連携の促進などを目的としております。何卒、趣旨にご賛同賜り、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

国際教養大学サポーターズクラブ  
会長 三浦 廣巳

### ■ 年会費

個人一口 3,000円、法人 一口 10,000円

入会を希望される方は、以下のQRコードを使用し表示されるフォームに入力いただくか、事務局へご連絡ください。

国際教養大学内サポーターズクラブ事務局  
電話：018-886-5904  
FAX：018-886-5910  
Email: aiu-supporters-club@gl.iau.ac.jp



# 企業連携

本学の全人教育の更なる進化を目指し、2022年4月に能動的学修支援センター、デザイン創造・データサイエンスセンター及び地域連携協働研究センターという3つの組織により構成される「応用国際教養教育推進機構」を設置しました。その一つである「地域連携協働研究センター」では、企業・団体と協働で地域の課題解決に取り組むことで、社会貢献の高度化に努めています。

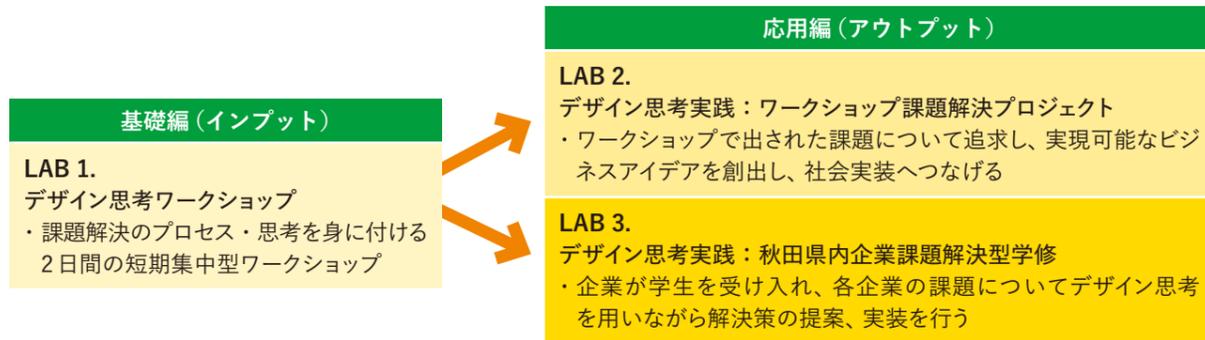


デザイン思考実践(安藤醸造)

## AIUデザインLAB

AIUデザインLABは、大学や秋田県内の企業が抱えるさまざまな課題の解決に向けて、学生と企業が協働で行う産学連携プログラムです。基礎編のワークショップで、課題解決に有効な手法「デザイン思考」を修得し、そこで得られた着想を応用編「デザイン思考実践」で実際の活動に結び付けていきます。地域の課題解決を通して「より良い秋田をデザインする」ことを目指しています。

## プログラム構成



## これまでの取組例

- ◎Afterコロナ時代の観光を見据えた老舗企業のDX戦略とは?
- ◎MaaS(Mobility as a Service)時代における未来のサービスステーションの役割とは?
- ◎秋田のものづくりの現場に飛び込み・体感し、その魅力を発信せよ!!
- ◎デザインの力で顧客企業の成長に貢献する。これからの時代の新しいモノ・コトの売り方をデザインせよ!



秋田で活躍する社会人やAIUの仲間達と本気で議論し、知恵を絞り、地域のためにできることを考えて協働する。他では体験することのできない、非常に有意義な経験を行うことができました。



ワークショップの様子

秋田県内の企業の方へ  
AIU生と協働で社内の課題解決に取り組みませんか?

お問い合わせ  
地域連携チーム  
TEL : 018-886-5835  
Mail : aiu.collaboration@gl.aiu.ac.jp



## 秋田県産品の海外PR

秋田県産品の輸出拡大を目指すプロジェクトです。2022年度は秋田の「いぶりがっこ」や「稲庭うどん」をフランスでどのように受け入れてもらえるか探るため、パリでマーケティング調査を実施しました。

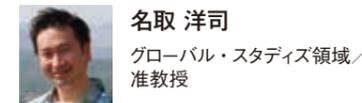


秋田県庁での記者会見

現地の方々の日本食に対する受け止め方を、正確に把握することの難しさをとても感じました。一方で、しっかりと分析を重ね、適切にマーケティングをすれば、今後大きな可能性があることを学びました。

## 産学金連携寄附講座

三菱商事洋上風力(株)、(株)ウェンティ・ジャパン及び(株)北都銀行との連携協定に基づき、電力・エネルギー全般をテーマとした寄附講座「世界のエネルギー動向：可能性と課題」を開講しています。

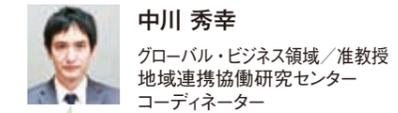


最終回のプレゼンテーション

人類にとってカーボンニュートラルは解決必須。その可能性を多分野の最前線で活躍する方々の講義やフィールドトリップから学び、エネルギーに関する理解を深め、問題解決の思考を身に付けます。

## TOYOTA SHAREの共同実証研究

トヨタ自動車(株)のカーシェアリングシステム「TOYOTA SHARE」を搭載した車両3台を本学駐車場に配備し、学生・教職員の利用統計から共同実証研究を行っています。

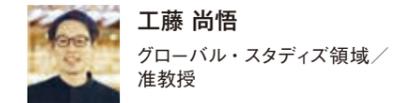


校内のカーシェアポート

カーシェアリングサービスが持続可能な17の開発目標(SDGs)「気候変動に具体的な対策を」や「住み続けられるまちづくりを」という目標の達成にいかに関与するのか、効果を測定・検証する共同実証研究を行っています。

## JR東日本寄附講座

「縮小社会における持続可能な地域づくり」に関する研究・教育活動を実施しています。フィールドワークを通じて、学生自らが地域にどのように主体的に関わることができるのかを議論しています。



フィールドワークの様子

リベラルアーツ教育における批判的思考や学際性の修得には、現場での学びが不可欠です。本学の多彩な科目や眠らない図書館での座学と秋田というフィールドの両方を涉猟し、ぜひ生きた知性を身に付けてください。

powered by 秋田銀行

## 《秋田県内特化型》就職ポータルサイト

みつけよう。秋田でぴったりの就職先

**スマホで簡単! 2ステップで登録完了!**

**ステップ1**

友だち追加

**ステップ2**

プロフィール  
自己PR  
希望条件

**登録完了**

求人情報検索や選考エントリー機能を使ってみよう!

スカウト受信

あなたの採用を希望する企業から価値あるオファーが届きます!

チャット機能

チャット機能で業務内容や会社の雰囲気気軽に質問!

完全無料/簡単ログイン

全サービス完全無料! LINE連携で煩わしいログイン作業を省略!

くわしくは [キャリアピタAKITA](https://www.caripita-akita.com) で検索!

<https://www.caripita-akita.com>

# 学術連携

応用国際教養教育推進機構のもと、科学研究と産官学の連携を通じ、地域に根付き世界へと広がる革新的な研究・教育・地域貢献の推進力となることを目的として「デザイン創造・データサイエンスセンター」を新たに設立しました。様々な学術機関との連携事業を通して、多様な研究活動を展開しています。



立命館大学アート・リサーチセンターとの連携協定締結式

## 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)

令和4年度COI-NEXT共創分野(育成型)に「技術 × 教養 × デザインで拓く森林資源活用による次世代に向けた価値創造共創拠点」と題した計画が採択されました。秋田県の3つの公立大学(秋田県立大学(代表機関)、秋田公立美術大学、国際教養大学)と(株)Q0に代表される民間企業や地方自治体がそれぞれの強みを発揮して、地域社会を共に創り、新たな社会への変革を促進する事業です。このプロジェクトでは、地域の豊かな森林資源の活用を事業の柱として、地域に貢献できる人材育成や新たな産業の創出を目指します。



ソウゾウの森会議



### ソウゾウの森会議

本事業では、地域人材の育成と協業、起業家精神の醸成を目的に、「ソウゾウの森会議」を開催しています。自分らしい生き方を想像し、秋田という風土のなかでの暮らし方と働き方を創造する人々が集う場所です。

第1回:11月27日(日)	「風土のなかに暮らすこと」 工藤 尚悟 グローバル・スタディズ領域/准教授
第2回:12月24日(土)	「秋田の木エ一次世代への循環を生み出す」 今中 隆介氏 秋田公立美術大学/教授
第3回:1月29日(日)	「新たな経済理念:バイオエコノミー ～地球と共に生きるための地域ビジネス、暮らしを考える～」 高田 克彦氏 秋田県立大学木材高度研究所/所長
第4回:2月18日(土)	「秋田と東京、そして全国との出会いから」 林 千晶氏 株式会社Q0/代表取締役社長

## 秋田民俗芸能アーカイブス

本学では、秋田県の300を超える民俗芸能の映像資料を集約した「秋田民俗芸能アーカイブス」を2013年から運営しています。この貴重な映像資料を最大限活用するため、2022年11月に、国内最大規模の日本文化財デジタルデータを所有する立命館大学アート・リサーチセンター(立命館ARC)と連携協定を締結しました。この連携により、立命館ARCのデータベースを通じて、「秋田民俗芸能アーカイブス」が全世界から検索・閲覧できるようになりました。今後、映像資料等の活用促進により、秋田の貴重な文化継承の一助となることを期待しています。



## 秋田リビングラボ

秋田ノーザンハピネッツ(株)、SUNDRED(株)と「秋田リビングラボ組成」に向けた連携協定を締結しました。リビングラボは、組織・所属の枠組みを越え、多種多様な人材が集い、より良い社会を創っていくために協働する場であり、そこから新産業を創出していくことを目的としています。本学の研究者や学生が参加し、地域の新産業創出が活性化されていくことを期待しています。



連携協定締結式

## AIUリサーチ・ウィーク

「AIU Research Week(リサーチ・ウィーク)」とは、本学の教員と学生が日ごろの研究成果を、学内はもちろん、地域の皆様とも共有することを目的として毎年実施しているオンラインイベントです。2022年度は、本学の教職員・学生14組21名に加え、初の試みとして海外提携大学の研究者による研究成果発表を企画し、11組が発表者として参加しました。イベント終了後も、2020年度から2022年度までのプレゼンテーションをアーカイブとして本学ウェブサイトに公開しています。

### テーマの一例

- 健康と創造性
- コンピュータ支援設計、3D印刷、プログラミング、光合成原生生物ユーグレナ・グラシリスを用いた実験計画スキルの構築
- 経済政策の不確実性は、円・ドルリスクの変化を説明できるか

開催期間 11月25日(金)～12月5日(月)

発表者 教職員・学生 14組21名  
海外提携校 11組11名

視聴者数 延 246名



## 学長プロジェクト研究

「学長プロジェクト研究」は、教員間の学際的な共同研究を支援・促進するために設けられた学内公募プロジェクトで、2022年度は地域貢献・課題解決をテーマとした研究を中心に5件が採択されました。



千葉 加恵子  
グローバル・コネクティビティ領域/准教授

地元の介護施設と連携しながら生け花ワークショップを開催し、生け花療法がどのように認知症の方々の症状と関連するかを分析しました。また、秋田県でのシニアライフ、介護ビジネスの可能性について地域の皆様と考えるワークショップも開催しました。

### 研究テーマ一覧(※代表研究者のみ掲載)

- 秋田県の高校生のための英作文ワークショップ  
クレイ・ウィリアムス(Clay WILLIAMS) 専門職大学院 英語教育実践領域/教授
- 秋田の認知症患者のための生け花療法ワークショップ  
千葉 加恵子 グローバル・コネクティビティ領域/准教授
- AIU Writing Center  
— 学生の英語文章力向上を支援するオンライン・リソース  
レベッカ・クレグササキ(Rebecca CLEGG-SASAKI) 英語集中プログラム/特任講師
- 農村の持続可能性のためのサービス・ラーニング  
工藤 尚悟 グローバル・スタディズ領域/准教授
- 秋田の若者のメンタルヘルスとレジリエンス促進に向けた創造的活動  
リー・フリードリック(Lee FRIEDERICH) 英語集中プログラム/准教授

# 地域と世界をつなぐ



### スポーツ交流

自治体のホストタウン事業のサポートを実施し、交流人口の拡大に取り組みました。



### 教育交流

タイの大学生の県内企業でのインターンシップをアレンジし、マッチングを行いました。



### 視察団受入

国際協力機構(JICA)視察団受入や海外公的機関の県内視察のサポートを実施しました。

